

NoBN315E 紙幣・紙葉計数機	紙幣送り部の隙間調整方法	2005年12月20日	1/1
----------------------	--------------	-------------	-----

■隙間調整

◆紙幣をスムーズに送る、エラーの予防 (半券検知、連鎖供給、2重供給) 及び紙幣以外のものを計数する場合、フィードローラーの隙間調整が必要です。

No.BN 3 1 5 E



◆調整方法

※工場出荷時に標準設定(日本国銀行券の紙幣)にて調整してありますが、外国紙幣やビール券・商品券等を計数する場合は、厚さが違うので、隙間の調整が必要となります。
また、長期間のご使用では、ローラーの磨耗等により隙間が変化しますので隙間の調整が必要となります。

1 : 下図のように、計数する用紙を左右のフィードローラー部に差し込み、確認してください。

- ・良い・・・スムーズに差し込めて、そのまま引き出すと上部のゴムローラーが回転する。 → 調整方法3へ
- ・悪い・・・差し込みがきつくて折れ曲がる、又は差し込めない。 → 調整方法2へ
- 抵抗なく差し込めてしまい、引きだす時に上部のゴムローラーが回転しない。 → 調整方法2へ

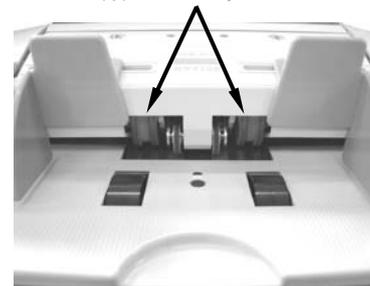
左側



右側



フィードローラー部
※ゴムローラー



2 : 用紙厚の調整ネジ (右図) を回して隙間を調整し、調整方法1の良い状態になるよう用紙を差し込みながら少しずつ回して調整してください。

用紙厚調整ネジ
狭くなる ← → 広がる



3 : 調整方法1の良い状態になりましたら、計数操作を行い確認してください。

- ・良い・・・スムーズに計数ができて、エラー検知なし。 → 調整完了です。
- ・悪い・・・エラーが検知されて、途中で度々停止する。 → 調整方法4へ

4 : 隙間を調整しても、エラーが検知されたり、最後の1枚が送りにくい場合は、DENキー(濃度調整キー) を押して、濃度レベルを変更してみてください。

※濃度レベルを変更しても、エラーが頻繁に検知される場合は、再度、調整方法の2から行ってください。

・何度か調整を行っても、用紙がスムーズに送られなかったり、エラーが頻繁に検知される場合は、他の原因が考えられますので、下記を参考に確認してください。

- ①使用頻度が高く、用紙等の紙粉がセンサーや送りローラーに付着している。 → 清掃してください。
- ②使用頻度が高く、フィードローラー部のゴムローラーが極度に磨耗している。 → お問い合わせください。
- ③計数可能範囲外 (規定外) の用紙を計数しようとしている。 → 取扱説明書の3.仕様参照
- ④フィードローラーの左と右の隙間が違う。 → お問い合わせください。
- ⑤その他、原因不明。 → お問い合わせください。